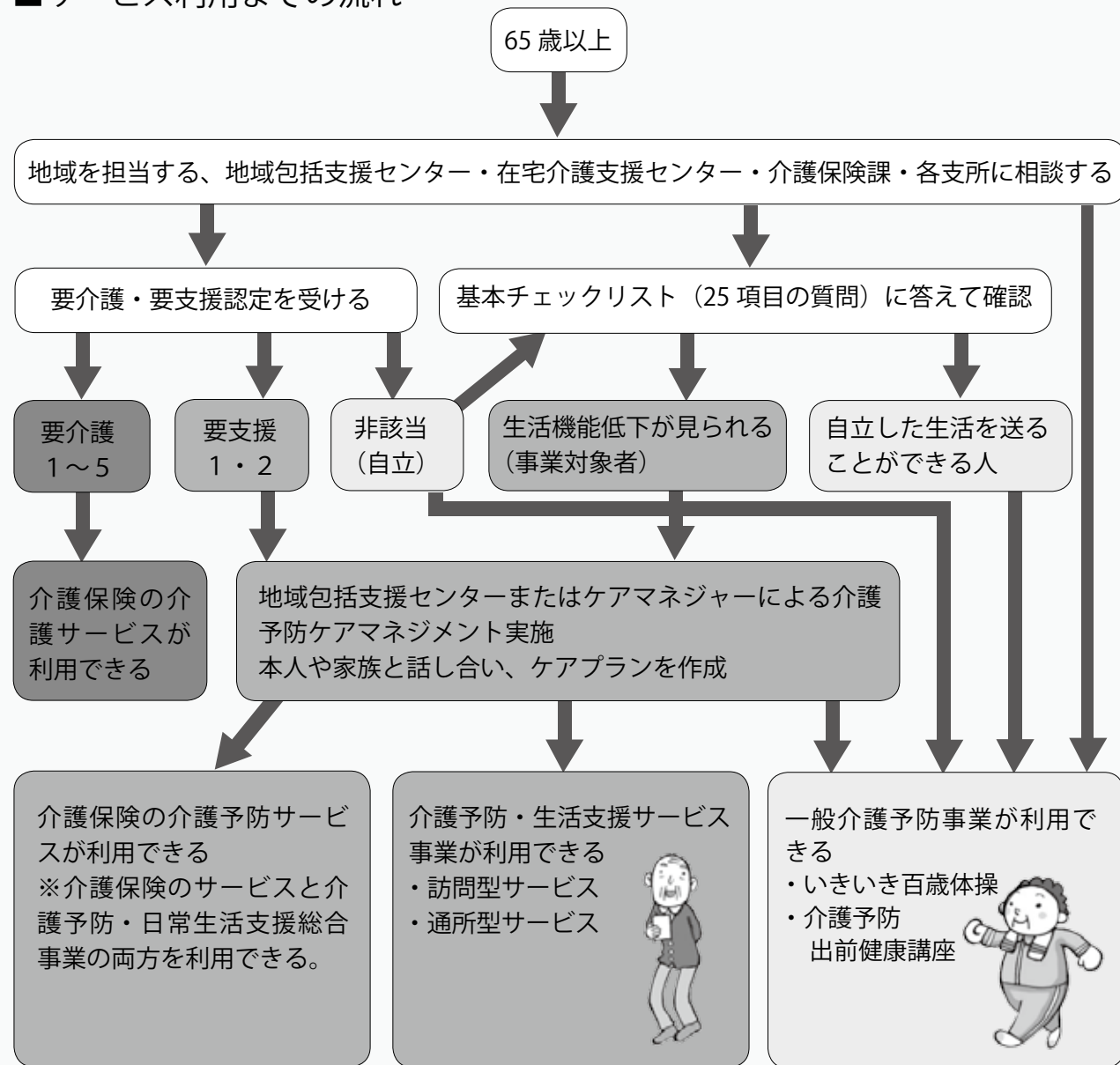


## ■サービス利用までの流れ



※訪問型サービスや通所型サービスのみを利用する場合は、要介護認定を受けなくても基本チェックリストに答えることで利用の決定ができ、サービス利用の手続きが簡単になります。  
※生きがいデイサービスは、4月以降も一般介護予防事業として実施しますが、新規の受付はおこないません。ご了承ください。

## ■地域包括支援センター

センター名	所在地	電話番号	担当地域
高齢者あんしんセンター	春日町黒井 811(介護保険課内)	74-0368	春日・市島
西部地域包括支援センター	氷上町絹山 513 (大塚病院内)	82-7529	青垣・氷上
南部地域包括支援センター ※4月1日開設	山南町野坂 176 (山南福祉センター内)	78-9123	柏原・山南

※柏原・山南地域の方は、3月31日までは高齢者あんしんセンターへお問い合わせください。



住み慣れた地域で安心して生活し続けるために  
介護を必要とする人が増え続けるいま、行政サービス以外に、ボランティアや地域で互いに支え合う仕組みが必要です。  
新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」は、一人ひとりの状態に合わせたサービスが充実します。

## 4月から新たな介護保険サービス 介護予防・日常生活支援総合事業が始まります

### 新たなサービスが始まります

団塊の世代が75歳以上になる平成37年にかけて、ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増加します。高齢化の進行も予測され、ますます介護保険サービスが必要とする人が増えます。介護人材が不足する現状で、介護を必要とする人が増え続けると、介護保険や行政だけではサービスを提供できなくなります。

新制度では、介護を必要とする度合いが軽度の人には、ボランティアや地域の助け合いなどで生活を支援します。また、高齢者自身も能力を生かし、できる限り要介護状態にならないように予防することが必要です。そのために、地域内で自分の「役割」や「生きがい」をもって、社会と交流し、いきいきと活躍する高齢者が増えるまちづくりをめざします。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活をするためには、社会全体で支える必要があります。そ

の仕組として、介護保険法の改正により「介護予防・日常生活支援総合事業（以下、新しい総合事業）」が創設されました。

### 介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）とは

これまで介護保険制度の「要支援1・2」に認定された人を対象としていた「訪問介護」と「通所介護」を「介護予防・生活支援サービス事業」と名称を変えて、新しい総合事業に移行します。これにより、これまでのサービス事業者以外の民間企業やボランティアなどが多様なサービスを提供できます。また、65歳以上のすべての人を対象とする「一般介護予防事業」を新たに設けます。

新しい総合事業は、サービスの選択幅が広がり、対象者一人ひとりの状況に応じた自立支援型ケアマネジメントにより、高齢者の生活を支え、健康づくりの手助けを提案していきます。



## 介護予防・生活支援サービス事業

「介護予防・生活支援サービス事業」は、要支援1・2に認定された人や生活機能の低下がみられる人などを対象に「訪問型」「通所型」の2種類のサービスを提供します。サービスの利用にあたっては、利用者の心身状態や希望を聞き、本人・家族・ケアマネジャーが相談して決めます。

■対象／①要介護認定のうち要支援1・2の認定を受けた人②基本チェックリスト（25項目の質問）で生活機能の低下がみられる人

### ◆訪問型

- ①予防給付相当サービス
- 内容／従来の介護予防訪問介護と同様のサービス。掃除・洗濯・買い物などの生活援助と入浴介助などの身体介護。
- 提供主体／指定事業所
- 費用／料金の1割または2割
- ②市独自基準訪問型サービス
- 内容／市が設定した基準で行うサービス。掃除・洗濯・買い物など生活援助。※身体介護なし
- 提供主体／指定事業所
- 費用／料金の1割または2割

## 生活を支える「くらし応援隊」

くらし応援隊は住民主体の訪問サービスで、要支援1・2の認定を受けた人や生活機能に低下がみられる高齢者の日常生活を支える有償のボランティアです。家事の手伝いや外出時の支援など、高齢者の自立した生活を支援します。高齢者本人もサポーターになり、支える側として参加することができます。現在、登録者は50人で、養成講座を開催し、随時増やしていく予定です。ぜひご参加ください。

### ■支援内容

- ①一般的な調理・配膳・後片づけ
- ②日常的に使用する屋内の清掃・ゴミ出し準備・後片づけ
- ③洗濯・洗濯物の乾燥・取り入れ・収納、アイロンがけ・シーツ・布団カバーの交換など
- ④衣替えなどの衣服の整理・ボタン付けや破れの補修
- ⑤買い物代行※嗜好品を除く
- ⑥薬の受け取り
- ⑦外出や通院時の付き添い※身体介護を除く
- ⑧郵便物の確認



- ③くらし応援隊
- 内容／掃除・洗濯・買い物など生活援助。※身体介護なし
- 提供主体／ふだんのくらしサポートセンター（社会福祉協議会）
- 費用／1時間あたり600円

### ◆通所型

- ①予防給付相当サービス
- 内容／従来の介護予防通所介護と同様のサービス。
- 提供主体／指定事業所
- 費用／料金の1割または2割
- ②市独自基準通所型サービス
- 内容／市が設定した基準で行うミニデイサービス。いきいき百歳体操、交流・趣味活動などを行う。
- 提供主体／指定事業所
- 費用／料金の1割または2割
- ③元気アップ広場
- 内容／社会福祉法人の施設を開放した住民主体の通いの場。いきいき百歳体操、交流・趣味活動などを行う。介護を必要としない高齢者も利用できる。
- 提供主体／社会福祉法人など
- 費用／実費負担

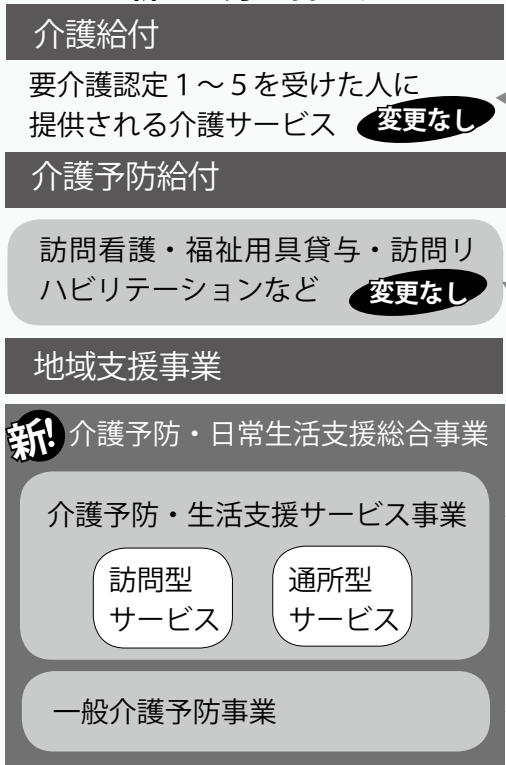
■依頼先／丹波市ふだんのくらしサポートセンター（社会福祉協議会）  
 東部 ☎ 74・0294  
 西部 ☎ 80・2930  
 南部 ☎ 72・2930

### いきいき百歳体操とは

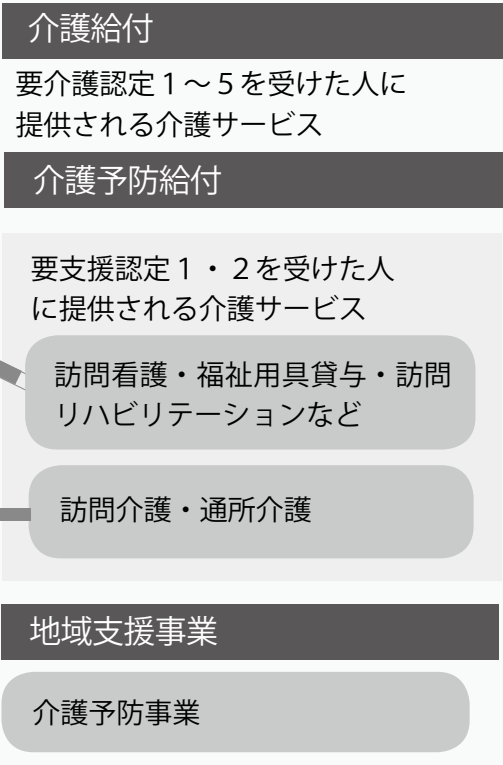
いきいき百歳体操は、高知市が高齢者の介護予防を目的に開発した、筋力体操を主とした体操です。市では、要介護状態になることを予防するために一般予防介護事業として行っています。市内でも、いきいき百歳体操を取り入れた住民主体の交流の場が広がっています。現在、市内47カ所で週1回、いきいき百歳体操サポーターの支援を受けて行っています。サポーター34人が活躍しています。参加者からは「杖なしでも歩けるようになった」「皆に会えるのが楽しみで、1週間が待ち遠しい」との声があり、筋力アップや交流の機会増加により、介護予防・社会参加の効果があります。4月から通所型サービスでもいきいき百歳体操が始まり、要支援1・2の認定を受けている方も参加できます。専門の介護サービスを受けるだけでなく、必要に応じてより自立した生活を目標に支援を行います。

## ■新旧介護保険制度の提供サービス内容

### 新 4月1日から



### 旧 現在の介護保険制度



※要支援の人に対する介護予防給付のうち、訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）を新しい総合事業に移行します。

## だれもが安心して暮らせるまちづくり

介護は決して他人事ではありません。だれもが平等に歳を重ねていきます。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、一人ひとりが、いきいき百歳体操への参加をはじめ、介護を必要としない身体をつくることが重要です。

また、介護や生活支援が必要になったときに地域で互いに支えあう仕組みが必要です。生活支援の体制をつくるために社会福祉協議会に地域支えあい推進員を3人配置し、市と協力して地域づくりを進めています。

新たな制度や仕組みを生かし、市民同士のつながりを強め、市民全員で支え合うまちづくりをめざしましょう。

